

SLFA Series

蛍光X線硫黄分析計

当試験装置は、重油や軽油等の燃料油中の硫黄分を簡易かつ迅速に測定することが可能な装置です。燃料油中の硫黄分は、ECA(Emission Control Area)や2020年以降の0.5%硫黄分規制で規定されており、非常に重要な性状です。本装置で硫黄分を測定することで、コンプライアンス遵守や、適切な燃料油の切替えによるコスト削減、補油時の硫黄分濃度の確認が可能です。

製品概要

測定原理: エネルギー分散型蛍光X線分析法

測定対象: 重油、軽油等の硫黄分含有燃料油

準拠規格: ASTM D4294、ISO 8754、JIS K 2541-4

測定範囲: 0.01~9.99% 検出下限: 0.01%

繰返し再現性: 0.015%以下

必要試料量: 4mL

特性

- ①燃料油(C重油~軽油まで)の硫黄分を簡易かつ迅速に測定が可能
- ②装置はISO、ASTM、JISに準拠(放射線式励起法)
- ③簡易試料容器の使用により特別な試料調整が不要
- ④装置はA4サイズで軽量(9kg)のため設置が容易

使用方法

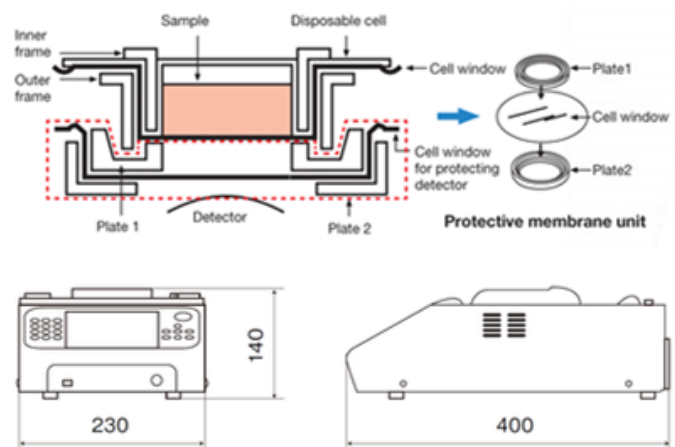
- ①装置の電源(AC100V~240V)を入れ30分暖気。
- ②装置の簡易試料容器に試料を約4mL採取する。
- ③簡易試料容器を組立て、装置にセットする。
- ④装置の測定ボタンを押し、結果が出るのを待つ。

メリット

- ①ECA域へ侵入する前に燃料油中の硫黄分濃度が0.1%以下となっていることを把握することが出来る。
→コンプライアンスの遵守に繋がる。
- ②燃料切替後どの程度の時間経過で硫黄分濃度が0.1%以下となるか把握するためのデータを取得できる。
→データを活用することで、最適な燃料切り替えタイミングを把握することが可能となり、高価な0.1%硫黄分燃料消費量を低減し、コスト削減ができる。
- ③補油された燃料油中の硫黄分を測定することで、購入スペックを満たしているか確認することが出来る。



外形寸法図・他(単位: mm)



 **日本油化工業株式会社**

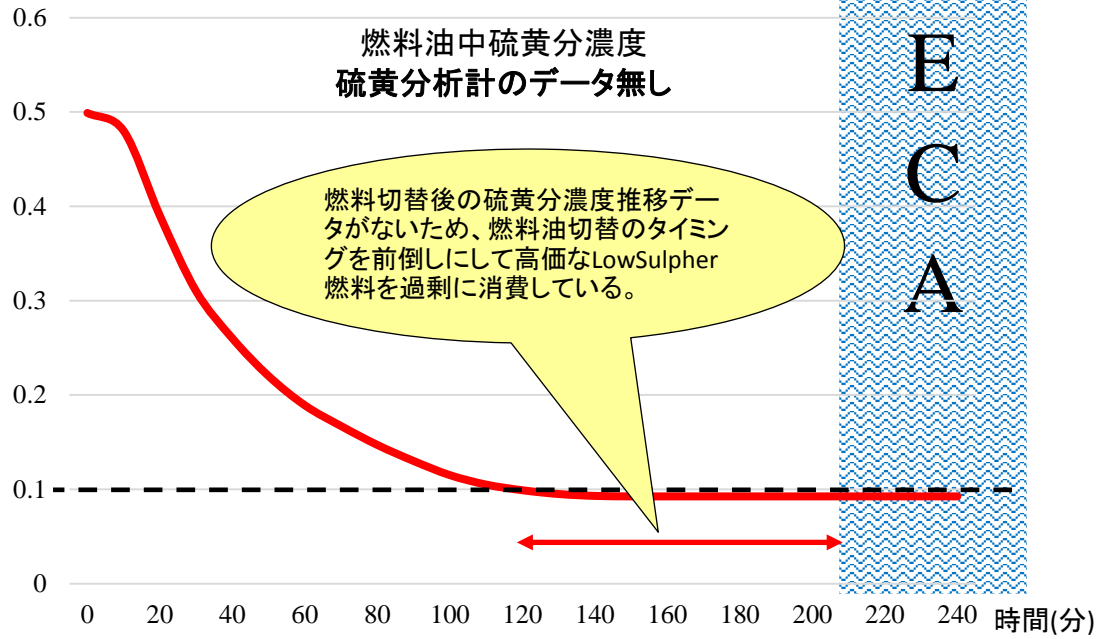
(裏面もお読みください。)

本社 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 郵船ビル3階
神戸営業所 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-1-1 神戸郵船ビル1階

電話 045(201)8867 FAX 045(201)8358
電話 078(321)4105 FAX 078(321)4107
2018.10

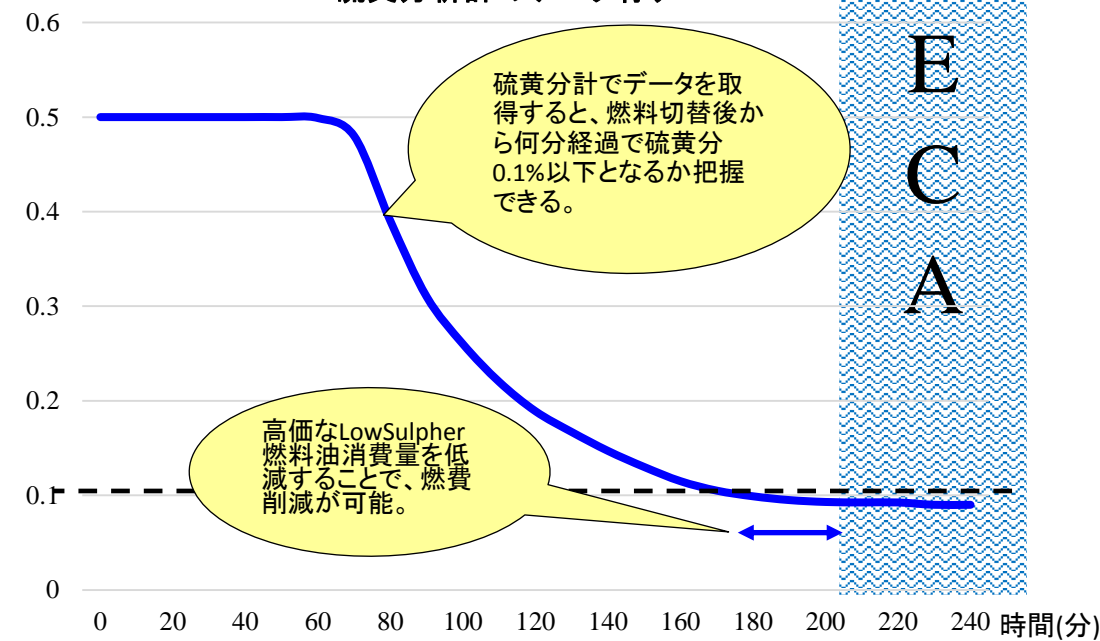
燃料油中
硫黄分濃度
(%)

硫黄分析計を用いた燃費削減イメージ



燃料油中
硫黄分濃度
(%)

**燃料油中硫黄分濃度
硫黄分析計のデータ有り**



使用上の注意

- 装置や試料容器の使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、正しく取り扱ってください
- 本製品は精密機器です。落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えないでください。

製品詳細

測定原理	蛍光X線分析	電源	AC100~240V±10%、50/60Hz
測定対象	重油、軽油等の石油製品	消費電力	80VA
測定レンジ	0.01~9.99%	標準規格	ASTM D4294、ISO 8754
検出下限	0.01%		JIS K2541/B7995
繰返し精度	0.0015%(1%の試料にて)	外形寸法	230×400×140mm[W×D×H]
検量線	標準試料による	質量	約9kg
測定時間	10~600秒の任意の時間	試料セル	専用セル
周辺温度	5~40℃		
周辺湿度	5~31℃まで:最大相対湿度80%		
	31~40℃まで:相対湿度80%より50%まで直線的に減少		
外部出力	プリントアウト、USB(オプション)		